

# レクチャー&コンサート 音楽といのち 瞑想のピアノ

講師 ピアニスト 即興演奏家 作曲家 ウォン・ウィンツァン

テレビ番組のテーマ曲などで誰もが聞き覚えのあるウォン・ウィンツァン・サウンドは、超越意識…つまり、意識を手放した状態で奏でられます。聴き手は自然に音楽に誘われ、ずっと溶け込み、いつのまにかシンクロしていくような心地よさを覚えます。

今回のお話のテーマは <音楽といのち>。「音楽家にとって音楽は命です。そして、どんな人にとっても、それぞれの命のはぐくみのプロセスの中で、音楽は欠かせないものだと思います」とウォンさんは言います。

お話と合わせて、“瞑想のピアニスト”ウォンさんの演奏も、できる限りたっぷりお聴きいただきます。参加者の方にとっても、メディテーション・タイムになることでしょう。



## <講師紹介> ウォン・ウィンツァン Wong Wing Tsan

NHK「にっぽん紀行」「目撃!にっぽん」Eテレ「こころの時代」のテーマ曲でも知られるピアニスト、作曲家。1949年神戸にて、香港出身の父、日本と中国のハーフの母との間に生まれ、1歳より東京で育つ。19歳からプロとしてジャズ、フュージョンなどを演奏。70年代には<ブラウン・ライス>のキーボーディストとして、全米をツアー。1987年、瞑想の体験を通して自己の音楽の在り方を確信し、90年よりピアノソロ活動を開始。92年にインディーズ・レーベル<サトワミュージック>を発足、ファーストアルバム「フレグランス」がFMから広がりロングセラーに。以後30タイトル近くのCDをリリース。代表作に「海より遠く」「光の華」「青の龍」など。コンサート、とくに即興演奏では、音の力でオーディエンスの深い意識とつながり、静寂な音空間を創りだしてゆく。超越意識で奏でる透明な音色に“瞑想のピアニスト”と呼ばれている。

2005年にセラピスト・著述家の吉福伸逸氏と出会い、ワークショップに参加、氏のもとでトランパーソナル心理学の心理療法のメソッドを学び、インストラクターとしての訓練を受ける。現在は、氏の弟子たちと「体験的グループセラピー」、ウォン美枝子とアートや創造性にフォーカスした「魂の表現ワーク」や生と死をテーマにした「デス・ワーク」などのワークショップを展開している。

2019年春まで3年間配信したネットラジオ「ムーントーク・カフェ」では“音楽のこと、こころのこと”を深く楽しく語り、現在もアーカイブで聴くことができる。[www.satowa-music.com](http://www.satowa-music.com)

日時	2020年3月21日 土曜日 15:30-17:30
受講料	会員 3,520円(入会金は5,500円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)
	一般 4,180円※入会金、受講料は消費税10%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※個人情報、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター  
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1  
新宿住友ビル内私書箱22号  
tel 03-3344-1946  
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>